

# 桑野塾

素人から研究者まで  
「これは面白い!」と思ったテーマを語り合う広場

<http://homepage2.nifty.com/deracine/russia/kuwanojuku.htm>

桑野塾 検索

●問合せ・申込み

大島幹雄 (おおしま・みきお)

E-mail: IZJ00257@nifty.com / 電話: 090-2207-8185

## 第9回 2011年7月9日(土) 15:00 ~ 18:00 早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 701号室

※前回までの教室のひとつ下の階です

★ どなたでもご参加いただけます。 ★ 参加は無料です。(懇親会の飲食費は別途)

★ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。※予約の都合上、参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

### さのせき テーマ: 佐野碩

1923年、関東大震災——  
佐野碩の波乱万丈の生涯は、ここから始まった!

2009年に刊行された岡村春彦による評伝『自由人 佐野碩の生涯』(岩波書店)で再評価の機運が高まる佐野碩。  
六ヶ国語を自由に操り、激動の時代に自らの信念を曲げることなく活躍した、稀有の国際的演劇人の波瀾の足跡を辿ります。

## 「亡命者 佐野碩—— 震災後の東京からベルリン、モスクワへ」

報告者: 加藤 哲郎

一橋大学名誉教授、早稲田大学客員教授。HPネチズン・カレッジ主宰。  
政治学が専門だが、「情報政治学」を提唱し、政治における情報・コミュニケーションの役割を広く研究し実践するために、インターネットを通じて独自に発信を続けている。  
『モスクワで粛清された日本人』(青木書店、1994年)、『国境を越えるユートピア』(平凡社ライブラリー、2002年)などでスターリン時代に粛清された日本人たちを、発掘したことで知られる。

## 「国際革命演劇運動家としての 佐野碩 1931-1945」

報告者: 田中 道子

エル・コレヒオ・デ・メヒコ(メキシコ大学院大学)教授。  
メキシコで亡くなった佐野碩の研究を続ける。鶴見俊輔の「佐野碩のこと」(『グアタルーベの聖母』[筑摩書房、1976年]所収)をスペイン語に訳して紹介した英語・スペイン語で研究論文を発表。1995年から佐野碩研究会を主宰、メキシコでの佐野の業績の資料集を編纂中。佐野碩研究書を執筆中。  
今回は、近い将来日本で予定している佐野碩展開催のための準備を兼ね、今年の秋メキシコ市で予定している「シンポジウム 佐野碩・北川民次 革命期メキシコの日本人芸術家」の準備と調査のために来日した。



中央で腕組みをしているのが佐野碩。後ろはメイエルホリド。

### 佐野碩(さの・せき) 1905-1966

「新劇」の基礎を築き、日本プロレタリア演劇同盟の中心的存在として活躍した演出家。「インターナショナル」「ワルシャワ労働歌」の訳詞者としても知られる。1931年治安維持法違反で逮捕後、偽装転向して国外へ脱出。ソ連で世界的演出家メイエルホリドの演出助手として活躍。1937年スターリンによる大粛清の中で国外追放処分を受け、フランス・チェコ・アメリカを経て1939年にメキシコへ渡り、演劇学校を創設。メイエルホリドの身体訓練法ビオメカニカとスタニスラフスキー・システムを融合させる試みを手がけ、多くの演劇関係者を育成して「メキシコ演劇の父」と称えられている。



※報告者・議題等は変更の可能性もあります。ご了承ください。

※嶋田丈裕「ロシアのオルタナティブ・ミュージックを聴く」はお休みします。